

**DH SYSTEM**

大日本塗料株式会社

商品番号 3373

レジライニング#50S-E-P

1. 一般名 静電気防止ビニルエステル樹脂系ガラスフレーク塗料
2. 規格 社内規格
3. 特徴
- 1) 石油タンクなどの危険物施設の静電気災害防止目的に有効な導電性に優れる。(体積抵抗率 $10^{5-8} \Omega \text{cm}$)
 - 2) ビニルエステル樹脂とガラスフレークとの組み合わせにより、優れた防食性を発揮する。
 - 3) 密着性良好で熱ショック、クラックや剥離を起こさない。
 - 3) 冬期でも短時間で良好な硬化塗膜が得られ、作業性が良好である。

4. 塗料性状

項目	内容				
容姿	2液性(主剤、硬化剤)				
荷姿	(標準) 16.16kg セット (主剤:16kg、硬化剤:0.16kg) (冬期) 16.32kg セット (主剤:16kg、硬化剤:0.16kg×2)				
色相	黒				
密度 (23°C)	塗料	1.20			
	揮発分	—			
加熱残分	100% (理論上)				
乾燥時間 (主剤 100)	温度	5°C*	10°C*	20°C	30°C
	硬化剤量	2	2	1	1
	半硬化	18時間	12時間	6時間	3時間
標準膜厚	150 μm				
引火点	SDS参照				
発火点	SDS参照				
爆発限界(下限~上限)	SDS参照				

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

* 印の温度の場合、混合比率は主剤/硬化剤=100/2

6. 施工上の注意

- (1) 被塗面の油、湿気、塵埃、その他の付着物は完全に除去する。
- (2) 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分に攪拌して均一な塗料状態としてから塗装する。
(施工温度により混合比は変動する)
- (3) 主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間内に使い尽す。
- (4) 希釈剤は必ずレジライニング反応性希釈剤を使用する。他のシンナーを使用した場合硬化不良を起こす。
- (5) 洗浄シンナーは微量でも塗料中に混入すると硬化不良を起こすので注意する。
- (6) 貯蔵有効期間3ヶ月以内に使用する。

5. 塗装基準

項目	内容				
下地処理	—				
調合法	主剤:100、硬化剤1~2(重量比)				
可使時間 (主剤 100)	温度	5°C*	10°C*	20°C	30°C
	硬化剤量	2	2	1	1
	時間	7時間	4時間	2時間	1時間
使用希釈剤	レジライニング反応性希釈剤				
洗浄シンナー	レジライニング洗浄用シンナー				
塗 装 法	塗装方法	刷毛塗り、ローラー塗り、エアレス塗装			
	希釈率	2%以内			
	標準使用量	0.37 kg/m ²			
	標準膜厚	150 μm			
エアレス塗装条件	1次圧	0.5MPa (5 kg/cm ²) 以上			
	2次圧	20MPa (200 kg/cm ²) 以上			
		ポンプ比: 45:1 以上、 チップNo.163-529~635			
塗 装 間 隔	温度	5°C	10°C	20°C	30°C
	最小	24時間	16時間	12時間	6時間
	最大	20日	20日	20日	15日

注) 標準使用量は被塗物の形状や塗装条件によって異なる。

* 印の温度の場合、混合比率は主剤/硬化剤=100/2

7. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	第4類第2石油類	第5類第2種自己反応性物質 有機過酸化物
有機溶剤区分	第2種有機溶剤含有物	—
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	—	—

8. 使用上の注意 [警告]

- (1) 安全情報に関する内容は、SDSをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。